

# 令和8年度 群馬県立万場高等学校 部活動方針

令和8年4月

## 1 目的

学校教育の一環として、生徒の自主的、自発的な参加により行い、スポーツや文化に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等を図る。

## 2 本年度の部活動

### (1) 本年度設置する部活動について

運動部4部、文化部2部を設け、それぞれ顧問1名以上、生徒に部長1名（必要に応じて副部長1～2名）をおく。

#### 【運動部】

卓球部、陸上競技部、バドミントン部、クライミング部

#### 【文化部】

家政部、ボランティア部

#### 【R8年度休部の部活】

バスケットボール部、バレーボール部、ウエイトリフティング部、硬式野球部、写真部  
吹奏楽部

### (2) 活動日及び活動時間について

#### ① 週当たりの休養日の設定

・週1日以上休養日を設定する。

（詳細は各部活動ごとの活動計画による）

※大会参加等により、やむを得ず休養日を確保できない場合は、代替休養日を確保する。

#### ② 長期休業中の休養日の設定

・学期中の休養日の設定に準ずる。

・生徒が十分な休養をとることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間を設ける。（詳細は各部ごとの活動計画による）

#### ③ 活動時間

合理的でかつ効果的・効率的な活動を行う。学校の休業日（学期中の土・日曜日を含む）では、3時間程度で活動を終える。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
活動終了目安時刻	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50	17:50
最終下校時刻	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09	18:09

※最終下校時間は奥多野線（生利発）の終バス時刻に準ずる。（18:09 終バス）

※長期休業中はSB運行に合わせ、活動終了目安 15:40、最終下校時刻 16:00 とする。

※学校長の許可を得るとともに、保護者の承諾を得られた場合に限り、終バス以降練習として最終下校を 19:00 に延長できる。(R6 年度にバレー部で実施、R7 年度は実施なし)

#### ④朝練習

原則として行わない。

### 3 経費

(1) 活動に当たる経費を生徒会費から補助する。

(2) 各部において部費を徴収する場合もある。ただし、集める場合は、必要最低限とし、金額については保護者の理解を得た上で決定する。その際、帳簿を作成し、年度末に会計報告をする。監査は部活動主任及び教頭が行う。

### 4 部活動への入部・退部

(1) 入部について

担任から入部届を受け取り、必要な手順を踏んで顧問に提出する。

○2, 3 年生の部活動へ加入を希望する生徒は、以下の手順による。

- ①担任から入部届を受け取る。
- ②必要事項に記入し、保護者の承諾印をもらう。
- ③担任に入部届を提出し、承諾印をもらう。
- ④保護者印、担任印の押印された入部届を、生徒が部活動顧問に提出する。

○1 年生の部活動へ加入を希望する生徒は、以下の手順による。

- ①部活動紹介を聞く。
- ②仮入部をする。
- ③担任から入部届を受け取る。
- ④必要事項に記入し、保護者の承諾印をもらう。
- ⑤担任に入部届を提出し、承諾印をもらう。
- ⑥保護者印、担任印の押印された入部届を、生徒が部活動顧問に提出する。

※ただし、4 月の入部届一斉回収時には、入部届は生徒が担任に提出し、押印の上で担任が顧問に提出するものとする。(SB 計画を効率よく作成するため)

※令和 6 年度から、2・3 年生が部活を継続する場合、入部届の再提出は不要とする。

⇒前年度 3 月 31 日付で退部届の出ていない生徒は、部活動を継続するものとして扱う。

(2) 退部について

退部を希望する生徒は、担任、顧問と相談した後、顧問から退部届を受け取り、担任と保護者に承諾の上、承諾印をもらい、顧問に提出する。

## 5 参加する大会等の精選

高等学校体育連盟の主催大会、各種コンクール大会や発表会、市町村主催、関係団体主催など、多くの大会等が開催されているが、生徒の技能の向上だけでなく、心身の健康についても配慮するため、参加する大会等を精選する。

## 6 部活動運営

### (1) 外部指導者について

専門的な指導を求める生徒や保護者のニーズに応えるとともに、教職員の指導力の向上、負担軽減のためにも、校長の了解の下、外部指導者を活用することができる。

ただし、部活動は学校において計画する教育活動であることを踏まえ、顧問との役割分担を明確にした上で、各部の状況に合わせて活用する。

### (2) 部活動検討委員会について

適切に部活動を実施するため、学校長、教頭、事務長、生徒指導主事、部活動主任、学校評議員で組織する部活動検討委員会を設置する。

委員会において、活動内容や活動時間、学校と保護者の連携、学校と地域の連携などについて、顧問、生徒、保護者等の意見を聞きながら必要に応じて改善策等を提案してもらう機会を設ける。